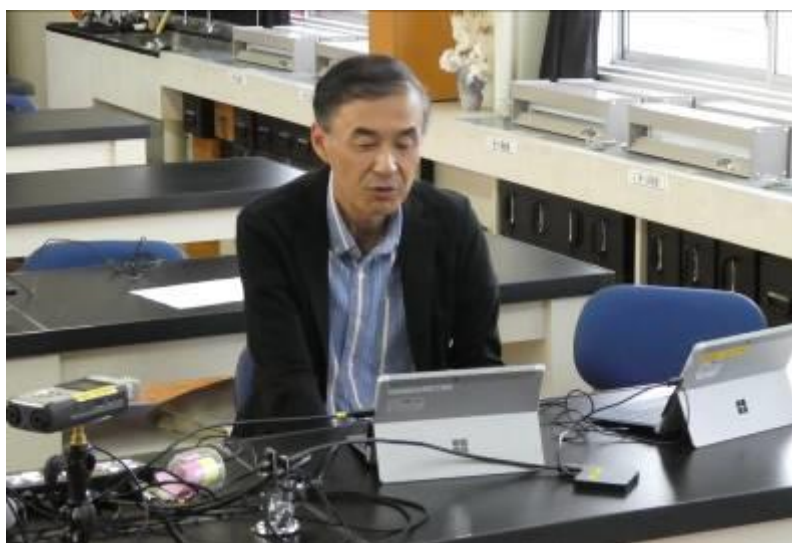


地域産業の担い手育成総合戦略事業



SDGs 講習会 (Web)

- 日 時：令和3年9月8日（水）
- 目 的：SDGsを推進する県内企業の取組から、SDGsの内容や目的を理解する。
岐阜県、大垣市の現状、課題等を理解し、目指すべき未来について一人一人が自分事としてとらえることの大切さを知る。
- 講 師：株式会社 艶金 代表取締役社長 墨 勇志 氏
大垣市環境市民会議 事業者部会 サンメッセ株式会社 ソリューション企画部 清水 渡 氏



<スライドより>

OSDGsは全員参加！！

○ゴミ箱に捨てているものに関心をもとう

○身の回りにある生活品に関心をもとう

誰が、どこで、どうやって作っているの？

○住みにくい地球にならないため、みんなで考えよう。



三学年に Web 配信



<生徒の感想>

自分がどんなゴミを捨てているのかを知ることが、自分のその後の生活を見直すことにつながる。一人一人の意識次第で、今後の日本や世界が変わると考えると、みんなで協力しないといけないと思った。想像を膨らませ、未来のために勉強していきたい。

1990年から衣服の購入量は横ばいなのに供給量が1.7倍にも増加していることや1人当たり、1年間で1回も着られてない服が25着あることに衝撃を受けた。ファッションに関わるものとして取り組むべき大きな課題だ。自分たちが呼び掛けていくべきことだと思った。まずは、自分の持っている服を大切に使う。

みんなが健康でいられること、安心して暮らせる福祉サービスが受けられるようになることが目標です。福祉の知識を広めることや健康維持のために自分の感染予防だけではなく、人に感染させないことも大切だと思った。自分にできることから取り組んで周りにもその取り組みを広めたい。

食品ロスを少しでもなくすように、冷凍をうまく利用して、食品の使いきり、食べきりを意識したい。大量に生産したい、たくさん買いたいとか、目先のことばかり考えずに、環境にどう影響するのか…など、未来のことを考えた行動することが大切だと思った。

